

3 サケ年齢組成と体サイズ

独立行政法人水産総合研究センター
北海道区水産研究所 さけます資源部

- 北海道では、1994 年以降でみた場合、4 年魚は前年を上回り、5 年魚は前年並み、3 年魚は最も少なく、6 年魚は 2 番目に多い
- 本州太平洋では、1994 年以降で 4 年魚および 5 年魚は平均的な水準を下回り、3 年魚は最も少ない
- 本州日本海では、1994 年以降でみた場合、3 年魚は平均的な水準を下回るが、4 年魚は平均的な水準、5 年魚は平均的な水準を上回り、2 年魚は 2 番目に多い
- 北海道の沿岸で漁獲されたサケの平均重量、主要河川に遡上したサケの平均尾叉長は、いずれも前年同期より大きい

・サケの年齢組成

(全国)

全国の主要な河川に回帰したサケの年齢査定途中経過をもとに、12 月末時点における年齢別来遊数を推定したところ、4 年魚 (2009 年級) は前年同期比 120.5%、5 年魚 (2008 年級) は前年同期比 99.1%となっています (図 1)。一方、3 年魚 (2010 年級) は前年同期比 74.7%であり、3 年魚としては 1994 年以降で最も少ない来遊数となっています。

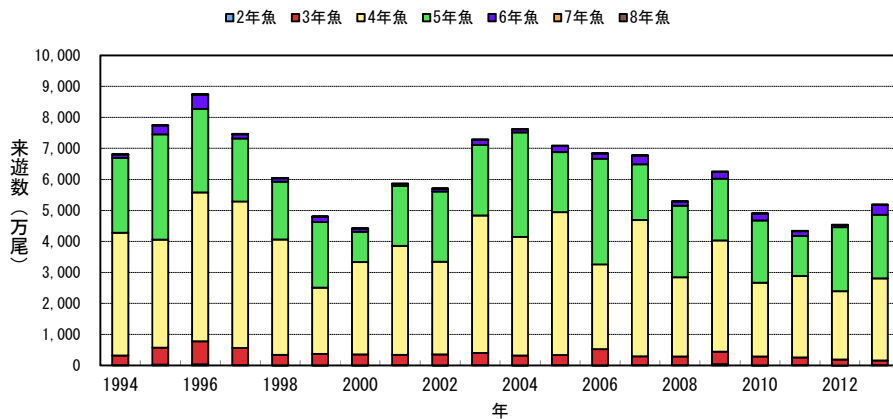


図 1. 12 月末時点のサケ年齢別来遊数 (全国)

(北海道)

来遊の主群を構成する 4 年魚 (2009 年級) および 5 年魚 (2008 年級) は、前年同期比がそれぞれ 113.6%、91.0%となっています。一方、3 年魚 (2010 年級) は前年同期比 88.4%

であり、1994年以降で最も少ない来遊数となっています。また、6年魚（2007年級）は前年同期比470.4%であり、1994年以降で2番目に多い来遊数となっています（図2）。

年級群（生まれ年）ごとの来遊数をみると、今年の4年魚である2009年級は、4年魚までの来遊数（2～4年魚の来遊数）で比べた場合、過去（1992年級以降）の平均的な来遊数を下回る水準となっています（図3）。

地域別にみると、太平洋側（根室～えりも以西海区）では、4年魚（2009年級）は前年同期比135.0%ですが、1994年以降の平均値の61.7%となっており、近年（1994年以降）の平均的な来遊水準を下回る状況となっています。また、3年魚（2010年級）は前年同期比77.6%となっており、近年のなかで2番目に少ない状況となっています（図4）。日本海側（オホーツク海区及び日本海区）では、4年魚は前年同期比100.9%となっています。3年魚は近年では3番目に少ない状況となっている一方で、6年魚は最も高い水準となっています（図5）。

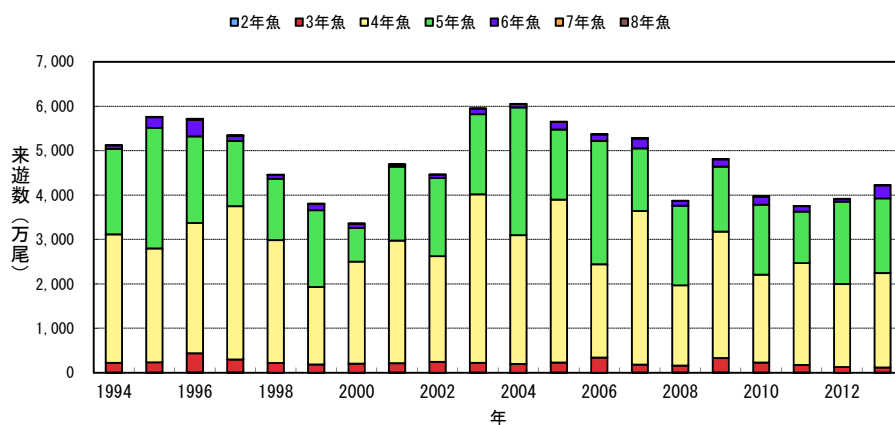


図2. 12月末時点のサケ年齢別来遊数（北海道）

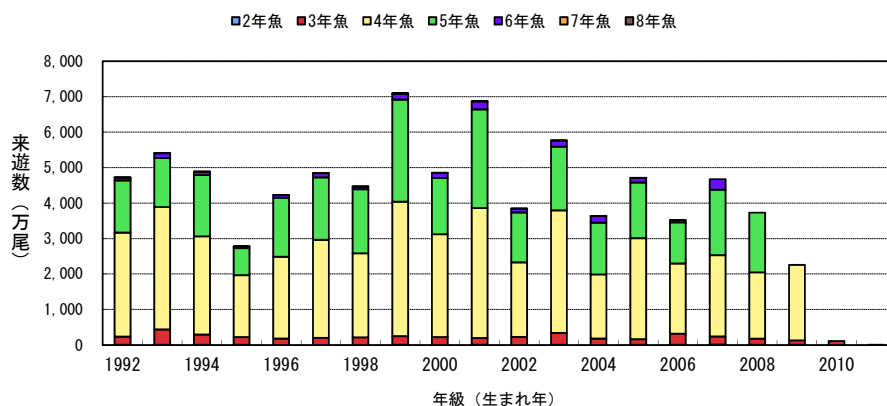


図3. 12月末時点のサケ年級群（生まれ年）別来遊数（北海道）

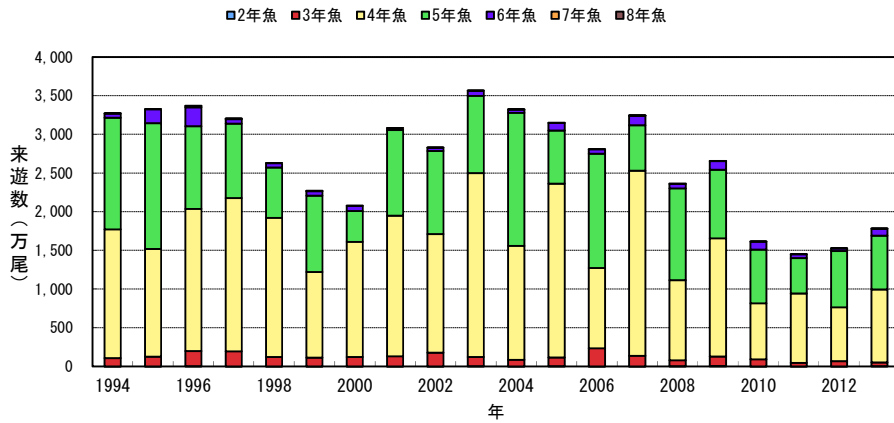


図 4. 12 月末時点のサケ年齢別来遊数（北海道太平洋）

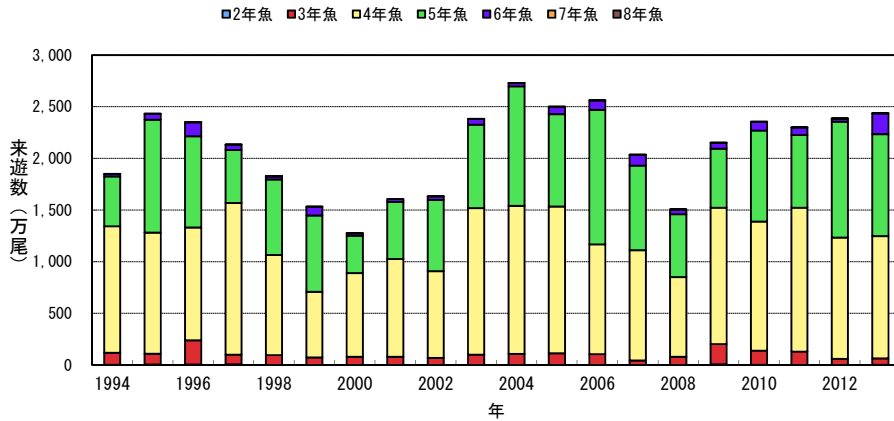


図 5. 12 月末時点のサケ年齢別来遊数（北海道日本海）

（本州）

本州太平洋側では、4 年魚（2009 年級）および 5 年魚（2008 年級）は、前年同期比がそれぞれ 163.1%、166.3%ですが、いずれも近年（1994 年以降）の平均的な来遊水準を下回る状況となっています。また、震災の影響を大きく受けたと考えられる 3 年魚（2010 年級）は、前年同期比 44.1%であり、近年では最も少ない状況です（図 6）。本州日本海側では、4 年魚（2009 年級）は近年の平均的な来遊水準ですが、3 年魚（2010 年級）は平均的水準を下回り、5 年魚（2008 年級）は上回っています。また、2 年魚（2011 年級）は近年のなかで 2 番目に多くなっています（図 7）。

年級群（生まれ年）ごとの来遊数をみると、今年の 4 年魚である 2009 年級は、4 年魚までの来遊数（2～4 年魚の来遊数）で比べた場合、太平洋側では過去（1992 年級以降）の平均的な来遊数を下回る状況となっています（図 8）。一方、日本海側の 2009 年級では、4 年魚までの来遊数が過去の平均的な水準となっています（図 9）。

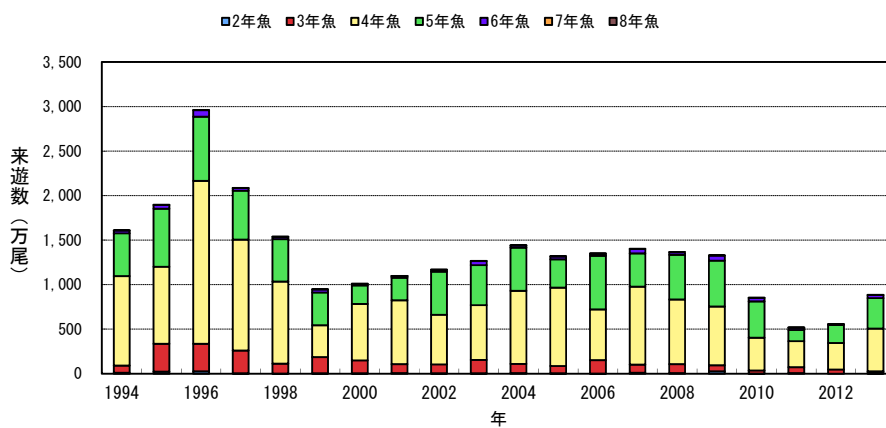


図6. 12月末時点のサケ年齢別来遊数（本州太平洋）

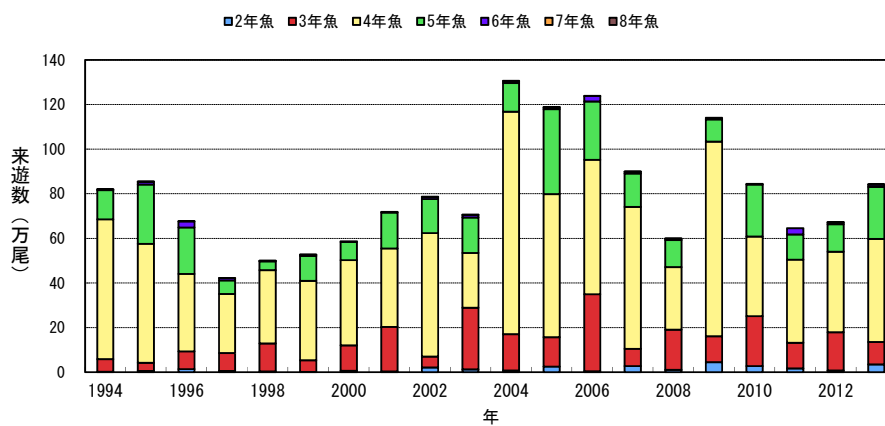


図7. 12月末時点のサケ年齢別来遊数（本州日本海）

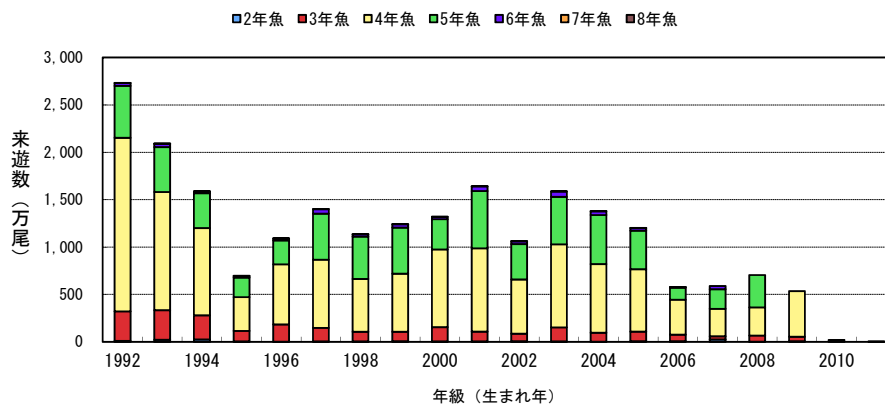


図 8. 12 月末時点のサケ年齢別来遊数 (本州太平洋)

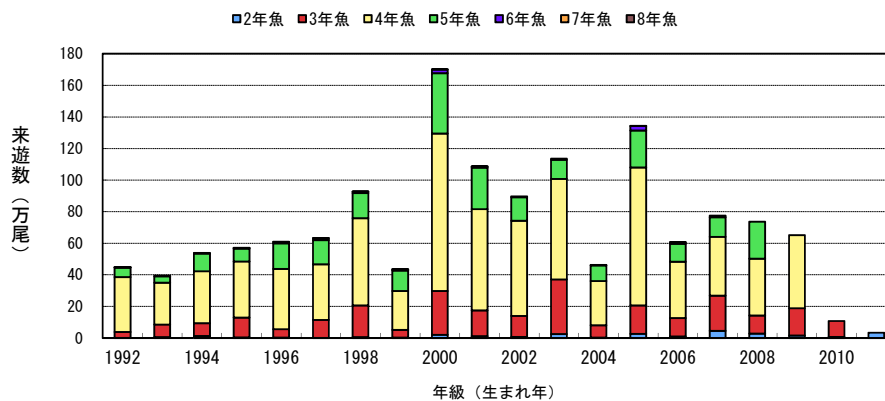


図 9. 12 月末時点のサケ年齢別来遊数 (本州日本海)

・サケの体サイズ

北海道における 12 月 31 日現在のサケ 1 尾当たりの平均重量 (サケ漁獲数と漁獲重量から算出) は 3.35kg であり、これは前年同期比の 108.1% に相当します。平成元(1989)年～平成 24(2012)年の同時期 (12 月末時点) における平均重量を比較した場合、今年の体サイズは、平成 19 (2007) 年～平成 20 (2008) 年および平成 23 (2011) 年に近い水準となっています (図 10)。

北海道の主要河川で測定された 4 年魚の平均尾又長は、いずれの河川とも平成以降で小さい水準であった昨年 (平成 24 (2012) 年) を上回っています (図 11)。

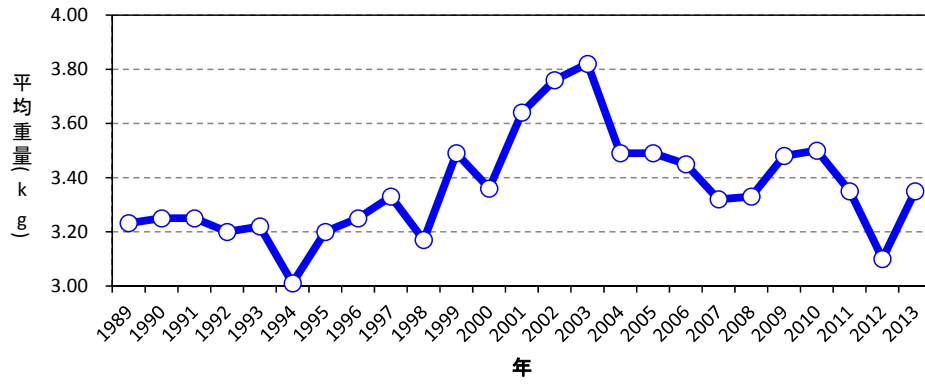


図 10. 12 月末時点のサケ平均重量（北海道）

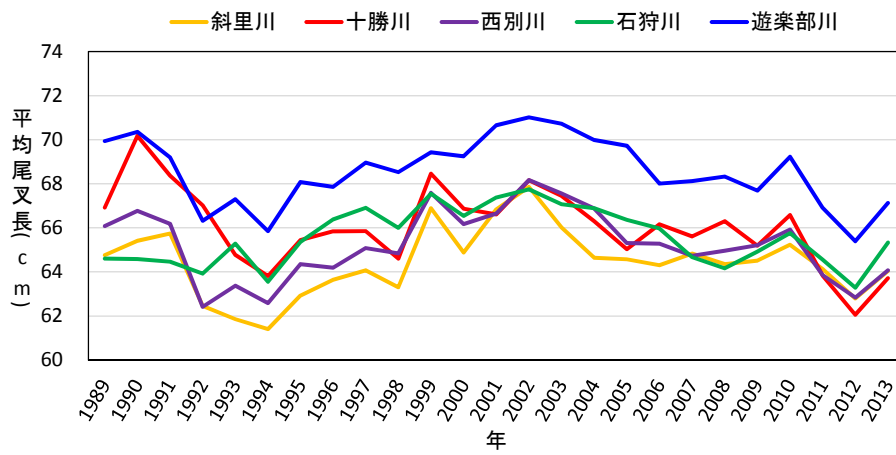


図 11. 北海道の主要河川における 12 月末時点のサケ 4 年魚（雌雄込み）の平均尾叉長